

認可保育所の保育料値上げ中止を求める請願

【請願趣旨】

町田市は、2014年4月から認可保育所の保育料値上げをする計画ですが、この計画が明らかになってから、さまざまな問題点が明らかになってきました。

- ・値上げ額は年平均36,000円で、最大207%（ひとり親家庭で所得税非課税世帯）の負担になり、大幅値上げとなること
- ・保育料の「能力に応じた負担」の原則に反し、所得が低い家庭ほど値上げ率が高いこと
- ・この値上げによって、多摩地域の自治体の中で一番高い保育料となること
- ・消費税増税と時期が重なり、子育て世代の経済的なダブルパンチとなること
- ・値上げは、保育士の待遇・保育の質改善には直結するものではないこと

認可保育所に子どもを通わせる保護者からは「ひとり親でも生活保護を受けなくてよいように必死で働いているのに、保育料2倍なんてひどすぎる」「夫が病気で、子どもに満足なおやつを買えていない状態。わざわざ保育料が安い町田に引っ越してきたのに値上げですか」「子どものおむつ代と同じくらいの値上げ額。子どもを産むなと言われてるように思える」など、切実な声が上がっています。

石阪市長は、2月の市長選挙の公約「ローカルマニフェスト」の冒頭に「子育て世代が選ぶまち 町田」を掲げて当選されました。保育料の大幅値上げは、「子育て世代が選ぶまち」とは、真っ向から逆行するものです。

市は、値上げの理由に「認可保育所と認可外保育施設との保護者負担の格差」を挙げます。それならば、子育て支援の予算全体を増やして、認可外保育施設・幼稚園への補助金を増やしてほしいのです。

子どもは、次世代を担う社会の宝です。子育ての経済的負担を軽減することで少子化対策をすすめ、「子育て世代が選ぶまち 町田」を実現するためにも、保育料の値上げ中止を請願します。

【請願項目】

- 一、認可保育所の保育料の値上げを中止してください